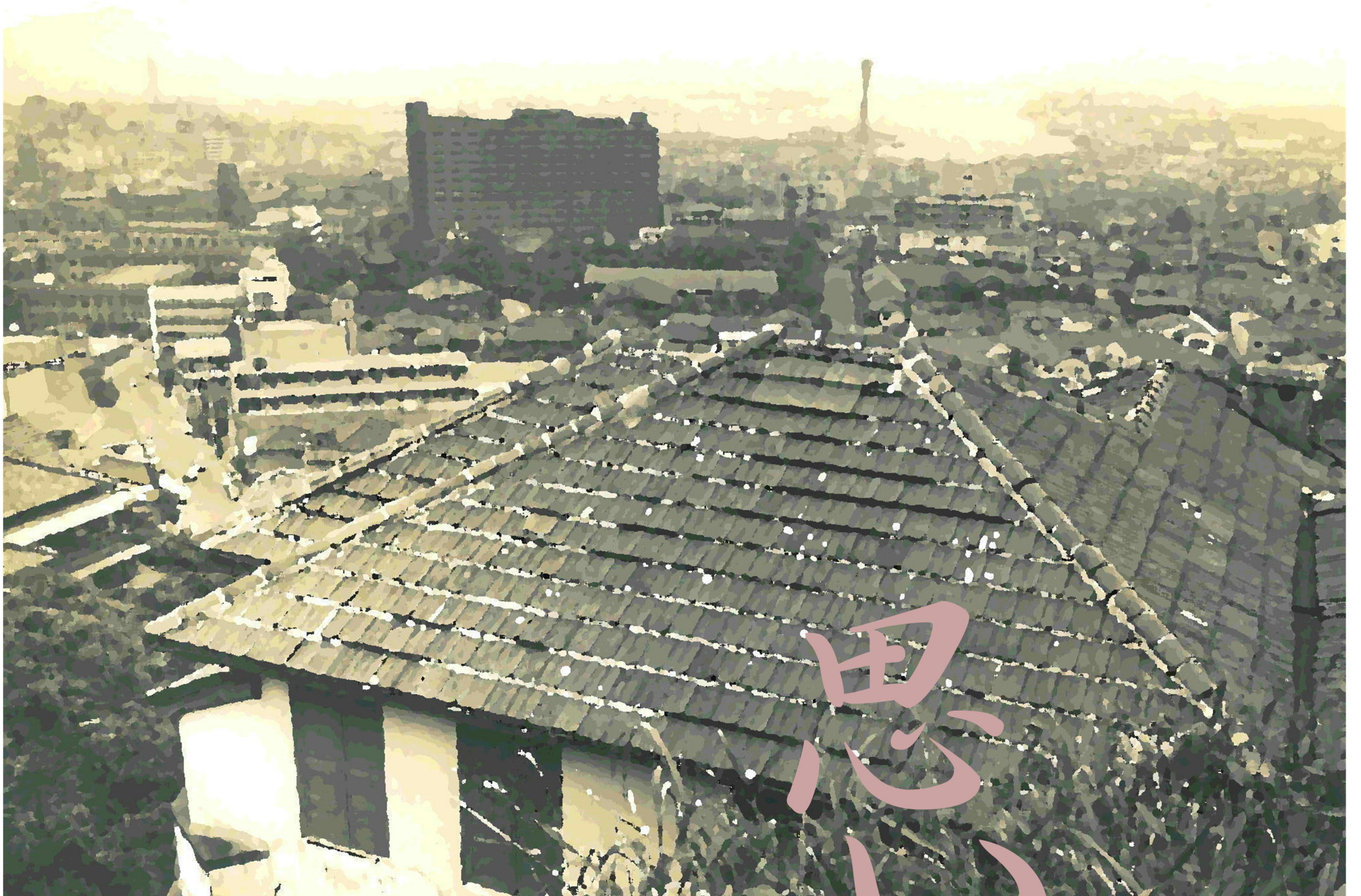




1960年代後半から70年代に田辺聖子が別宅としていた神戸市生田区(現中央区)諏訪山の異人館から神戸港を望んだ写真(1966頃)から作成

田辺聖子が残した
震災前の風景——

思い出のまち

神戸の住人であった夫と結婚しなかったら、
私は生涯、神戸と無縁にすぎたかもしれない。
その点では私は、夫とめぐりあったことよりも、
神戸とめぐりあった方が嬉しいくらいだ。

田辺聖子「北野町のロケン」
[ROMANTIC MEMORY KITANO] (1978)

会期 2026年 令和8年 1月17日(土)～3月11日(水)

大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館

思い出のまち

—田辺聖子が残した震災前の風景—

会期 2026年 令和8年 1月17日(土)～3月11日(水)

いまから60年前の1966年2月、
田辺聖子は川野純夫氏(カモカのおっちゃん)との結婚を機に神戸に住むことになりました。
およそ十年を神戸の街で暮らした田辺聖子は、
神戸の街や人の魅力に触れ、人生観が変わったと述べています。
そのため、神戸の街を離れてからも、
神戸を舞台とするさまざまな作品を書いてきました。
しかし、
1995年1月17日の兵庫県南部地震の発生によって、
街の姿は変わってしまいます。
田辺聖子にとって、地震によって
神戸の人々の命が奪われ街が壊されたことは
大変痛ましく、復興への思いは強かったと言えます。
本展では、
かつての神戸の街—思い出のまち—の姿が描かれた
田辺聖子の作品を中心に展示します。
かつての風景に思いを馳せることで、
改めて阪神淡路大震災を記憶に留めるきっかけとなれば
幸いです。

【展示資料】

パネル〈田辺聖子が住んだ神戸市諏訪山の異人館について〉

田辺聖子「私の出張結婚」(『婦人生活』1966.7)

田辺聖子直筆原稿「ひなげしの家」(1977年)〔初展示〕

田辺聖子スクラップブック「Oh! 関西 阪神間」
(サンケイ新聞夕刊1981.3～5)

田辺聖子チャリティー講演会「ナンギやけれど……」
(1995.4.19 有楽町朝日ホール)チラシ
ほか

ギャラリートーク〈学芸員による展示解説〉を開催します！

日時 2026年3月3日(火) 13:30～14:30
(受付開始 13:00)

* 参加無料・事前申込不要
当日、開始時間までに文学館入口にお集まりください。

大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館

所在地 〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26

大阪樟蔭女子大学 緑翠館1階

アクセス ・近鉄奈良線「河内小阪」駅下車 西へ徒歩4分(約300m)
・JRおおさか東線「JR河内永和」駅下車 東へ徒歩5分(約400m)

開館時間 9:00～16:30

休館日 日曜・祝日・大学の休業日

入館料 無料

URL <https://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp>

E-mail bungakukan@osaka-shoin.ac.jp

FAX 06-6723-8387



HPトップページ

